

① なぜ埋設管撤去が増えているのですか？

A 現在の埋設管撤去時、地中には無数の管が眠っています。過去の工事では、残置とって管を残したまま復旧していました。最近では、地中に色々な管を埋設するケースが増え、過去に残した管の撤去と現在行っている工事の時は管を残すことができなくなっています。これとは別に耐震工事と称してガスは特に鉄管からP管に入れ替えが急速に増えています。

② 簡単に鉄管を破断させることができますか？

A 硬度の高いFC管やGX管は2回の挟む場所の移動で破断できます。ただしNS管に関しては、粘性が強く破断するのに少々のコツと時間が必要です。立ち合い指導の出来ない処（販売店やレンタル店）にはお出し出来ない場合があります。

③ どうしたら破断できますか？

A 一般的に管に対して垂直にセットし油圧をかけ始めます。ダクタイト管の性質を理解した上で行わないと、管を潰すだけで破断できません。一箇所から潰すとΦ200で50mm近く潰れても破断しません。そこで破断させるのに全方向から圧力をかけ、ビットを全体に食い込ませる作業が必要になります。これを数回行うことでひび割れを促進させ破断します。

④ 掘削とセットについて？

A 試験掘りを行うことで管の場所をセンターから外し機械の刃先が入る様に施工することで破断をスムーズに実行できます。但し、埋設管の交錯がひどい場合、機械が入らないことがあります。その時はご使用できません。

⑤ 機械の破損しやすいところはどこですか？

A 機械ですので壊れないことはありませんが、基本的に使用方法が間違っていなければ壊れる箇所はありません。ただし消耗品の油圧シリンダー・オイルシール・油圧カプラー等、また稀に機械のセット時に傾斜や斜めにセットすることで油圧が70Mpaかかりますので、機械の破損を招くことがあります。

⑥ 機械のレンタル代金が高いといわれましたが？

A 機械のレンタル代金については、工事費用の何%になりますか？
一日工期短縮したら一般的に幾ら利益を上げることができるでしょうか。
また、消耗材のダイヤモンドブレードが例えば残水の溜まっている管を切断すると簡単に切れなくなります。切れなくなるだけでなく水圧で時間もかかり作業員にも残水がかかることが多々あります。特にエンジンカッターを掘削した場所で使用すると音・粉じん・排気ガス・切断時間で作業員は大変過酷なものになります。最近では、油圧カッターで切断しているようですが本体の費用がこのきったくんより高額ということです。費用対効果と作業環境を考えて費用の対比をするよう勤めてください。

⑦ きったくんの使用をなぜ推進しているのですか？

A カッター使用時のエンジン音・切断音・粉じん・時間短縮のためです。労働衛生上の問題も解消でき、防災防止にも役立つということになります。

⑧ 実際に破断させる時間はどのくらいですか？

A 条件により大きく変化しますが、本製品の入る箇所が確保できればNS管は約2分程度、GX管は約1分程度、FC管は30秒程度で破断することができます。

● 東日本総販売元 株式会社 笹川電機商会
TEL 025-273-4425 <http://www.sasagawadenki.jp/>

● 西日本総販売元 株式会社 オザキ
TEL 090-5904-6239

● 製造元 株式会社 ロック

YouTube にて動画公開中

きったくん 検索



【ご使用方法】

- ① 「きったくん」と電動油圧ポンプを油圧ホースで確実に接続します。
- ② 「きったくん」をパイプの上に垂直に設置します。
- ③ 電動ポンプの電源を入れると「きったくん」がパイプを締め付けます。
- ④ 数回の切り返しにより、数十秒でパイプが割れ、破断できます。

※管サイズによっては破断までの時間が変わることがあります。

きったくんセットの状態▶



① 接続に関して

機械の油圧圧力が72Mpaということもあり、油圧ホースのカプラーの取り付けは、ねじ部分の隙間がないよう接続してください。使用時にシリンダーが戻らなくなることがあります。油圧ホースを外す時にカプラーを手で回すことができなくなる場合があるので接続は正確に行ってください。カプラー接続時はウエスもしくはパーツクリーナーで清掃し接続してください。



カプラー差込みの悪い例
ねじ部分に隙間あり



カプラー差込みの良い例
ねじ部分に隙間なし



接続部分の取付の良い例
ねじ部分に隙間なし



油圧ポンプの
最大圧力

② 入力電源に関して

本製品は100V仕様です。電源は1.4KWの発電機もしくは、10A以上の取れる商用電源にて作動します。延長コードを使用する際には、ドラムから全てのコードを出してご使用ください。コードを巻いたまま使用すると電気抵抗でコードの焼損を招いたり、機械に対して電流値が上がり油圧ポンプのモーターや電磁弁の破損につながります。(Φ2以上のコードをお勧めします)

③ 本体に関して

本体に使用されている油圧シリンダーは単動式です。シリンダー内にスプリングが入っており油圧ポンプの電磁弁を切ることでスプリングの戻りを利用してシリンダーを閉じる仕組みになっています。切り替えても急激に戻ることはありませんが、出ているピストンに触れていると危険です。絶対にシリンダーを持っての移動は行わないでください。

④ 作業時の注意点

管破断作業時の使用にて管に対して出来るだけ直角に機械の設置を行います。もしも実施できない場合機械本体に支障をきたすことになり、本体を破損させることとなります。吊下げ時機械作業破断状態で本製品を使用してかませた状態の管の引き抜きや吊下げ移動作業は決して行わないようにしてください。掘削時使用できない箇所も多数ありますので現場に合わせた工程を組んだ上、作業をお願い致します。(同梱している釣り具は「きったくん」以外には使用しないでください)



管に対して本製品を斜めに設置



管に対して本製品を垂直に設置

⑤ 破断できる管種に関して

破断できる管種について、一般的に言われるFC管(ネズミ鉄鉄)・NS管 GX管等(ダクタイト管)管種の外径寸法で使用の出来ないものがある可能性があります。この機械は埋設管撤去専用として製作されており、破断面は接続替え時の断面では使用できません。